

☆ キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント

2019年6月17日号

=vol.26=

～ごあいさつ～

こんにちは。ホワイトボックス コンサルティング部の阿部勇司です。

本格的な梅雨に突入しました。梅雨といえば紫陽花を連想するのですが、紫陽花の花色は根から吸収される養分によって、酸性ならば青っぽくなり、アルカリ性なら赤っぽく変化するそうです。色々ある呼び名の一つに「七変化」という名があるのも納得です。

s「令和」命名の由来で一躍再注目された万葉集にも紫陽花を詠んだ句があるようですが、雨音を聞きながら静かに過ごす休日も悪くなさそうですね。

さて、今回の《☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント》は、次の内容でお届けします。

【目次 (Contents)】

- ◆今号の注目 Topic：「適切な廃棄物処理はコスト管理につながる」
- ◆WB's Opinion：「施設管理はこうして行う」
- ◆お知らせ
- ◆編集後記

*本メールは、ホワイトボックス（株）コンサルティング部スタッフと名刺交換をさせて頂いた皆さま及び弊社がサイト運営している、ドクターレジャーボックスの Web サイトに無料会員登録された皆さまへお送りしています。配信停止を希望される方は、お手数ですが本メール文末にある購読解除手続きへお進みください。

【今号の注目 Topic】

▽適切な廃棄物処理はコスト管理につながる

鼻にプラスチック製のストローが刺さったウミガメの画像が SNS で瞬く間に拡散したり、最近では中国の廃プラスチック輸入禁止や、東南アジア諸国のいくつかの国が不法な輸出ゴミを受け入れに怒りをあらわにするなど、ゴミ問題が世界の流れを変えようとしています。

今号で取りあげる廃棄物処理問題はそこまで大きなものではないものの、排出事業者として、特に医療機関では、感染の危険がある廃棄物を取り扱っている事業者であることを意識して取り組むことが求められます。経営の面からみれば、廃棄物処理にも費用が掛かります。特に感染性廃棄物は、事業系一般ごみと比べてそのコストは高くなるため、適切に処理

することで、コスト削減に寄与することができると理解しています。

<http://bit.ly/2WP3AU8>

【WB's Opinion 「施設管理はこうして行う」】

病院の施設管理は、「営繕や施設管理者を配置して、施設をうまく運営していれば終わり」ではありません。施設を日々活用する病院スタッフの意識改革が必要です。医師をはじめとしたスタッフが正しく施設を使わなければ、適切な結果を残すことができないからです。

駐車場に駐車をするとき、気遣いをせずに路肩に乗り上げ縁石を壊したり、バックをしてフェンスにぶつかる…といった単純なことだけでなく、壁にストレッチャーやカートで傷をつけたり、穴をあけてしまうことや、意図的に整理整頓しない、清掃をしない、電気や水道を無駄に使う etc…といったことがあれば、いくら管理者が保険を掛けたり、メンテナンスをしたりしても意味が半減してしまいます。病院の設備を大切に使うという思いが職員になれば、よい管理を行うことは困難です。

Topic で取り上げている廃棄物処理についても同様で、燃やせるごみや燃やせないゴミ、といった一般家庭レベルの分別だけでなく、感染性廃棄物処理を適切に行うことで、廃棄物処理料金自体はもちろん、不要な事故を防ぐこともできると理解しています。ここで、事故とは自院内のことだけでなく、私たちに代わって収集運搬処理をしてくれる、業者スタッフにも同じことが言えます。

スタッフ一人ひとりがコスト意識を持ったり、環境意識を持つことに配慮を向けるには、教育のための時間を捻出することが求められますが、そのためには常に業務を見直し、生産性をあげることが重要になってくることになりませんが、日々の行動に留意し、施設設備ひとつを大切に、丁寧に扱う者は、他の業務においても間違いなく、適切な対応をする傾向にあります。ポイントは病院のビジョンが明確で、改革が継続的に実施されており、診療活動に勢いがあることです。そうした病院には、適切な行動をとる職員が数多く存在します。

単に施設管理者をおくのではなく、また職員にコスト面での話をするだけでなく、自院の地域において役割を果たし医療を提供し続けていくために、私たちは何をしなければならぬのかについて、しっかりとした病院の考え方を伝えるとともに、実際に明確な病院運営の方向を提示し、改革を継続していくことが求められます。

医師や看護師、技術職、そして事務職皆が働きやすい環境づくりをどのように行っていく

のかについて、病院幹部は徹底して議論し、現体制や手法に誤りがあれば、それを直ちに正し、あるべき病院運営を行っていく必要があります。それこそが、真の施設管理を行うための要諦であり、基本だと考えています。

【お知らせ】

▽書籍のご紹介「サクセスキューブ このフレームワークであなたも必ず成功できる」

<http://www.whitebox.co.jp/success-cube/>

= 成功を「誰にでも再現できるものに」 =

弊社代表 石井友二の最新刊が幻冬舎から発刊されました。本書では、成功の要件に欠かせない 6 つの要件、「思い」×「信念」×「技術」×「人間力」×「コミュニケーション」×「達成感」を、私たちの身近にあるサイコロ（キューブ）の 6 つの面を使って表現することで、誰にでも理解しやすいフレームワーク「サクセスキューブ」として示しています。

一流のビジネスパーソンが無意識に実践している思考法を、“キューブ”を使って理論化した最新刊は、以下の URL から電子書籍でもお求めできます。

<https://www.gentosha.co.jp/book/b11933.html>

【編集後記】

今号の Topic で廃棄物処理について取り上げましたが、その昔は自院で焼却設備を持ち、処理していた古い病院もあったであろうことに思いを馳せました。考えてみれば、まだ私が中学生の頃は学校にも焼却炉があって、そこに可燃物を持っていった時代。しかし、その後はダイオキシン類等の有害物質の排出に対する安全性の確認が確認されない限りは、原則として使用を取りやめるという通知がでてから、すでに 20 年以上が経ちました。

最近、横浜で期間限定で開催されている「うんこミュージアム」という施設が話題になっていると聞きましたが、中世のヨーロッパでペストが流行した背景の一つに、糞尿等の排せつ物が路上に捨てられていたことにあると、何かの本で読んだことを思い出しました。

下水道処理施設ができる前の話しですが、こうした歴史を繰り返し、長い時間をかけて人類は繁栄を遂げてきたのだと思うと、現代のゴミ問題も超えていかなければならないことであり、「何もできない」ではなくて、「何かできる小さなこと」を積み重ねていくことが、我々イチ庶民にできることだと考えさせられた次第です。

▽ご意見・お問い合わせ

本メールマガジンは自動配信システムを利用して送信しております。そのため送信元の

メールアドレスに返信しても届かない場合がございますので、ご意見・お問い合わせ等につきましては、お手数ですが以下のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ support@whitebox.co.jp

▽登録解除フォーム

メールマガジン購読解除を希望される方は、下記のフォームから手続きをお願いします

<https://goo.gl/QWL7dE>

▽ホワイトボックス(株)メールマガジン「☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント」は毎月15日と月末に発行予定です(該当日が週末の場合は、週明けに発行します)。

発行：ホワイトボックス株式会社 コンサルティング部

HP <http://www.whitebox.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-11 銀座120ビル7階

☎：03-6278-8741

*掲載記事の無断掲載を禁じます

Copyright ©ホワイトボックス株式会社 All Rights Reserved.